

## 編集後記

1970年代初頭、井上陽水の「傘がない」という曲がはまりました。それは、社会のいろいろな問題よりも、自分にとって、雨の中恋人に会いに行くための傘がないことの方が切実な問題といった内容でした。これに対しては当時の若者の社会への関心の薄れ、あるいは社会に対する無力感といった当時の世相を反映しているといったような説明がなされていたようです。

コミュニティにとって、一人一人の構成員がそのコミュニティの抱える問題や、将来に対して無関心になってしまう原因の一つに、コミュニティの状況に関する情報や重要な決定がどのように行われたかが十分に伝わらない等のコミュニケーション不足が考えられます。学会誌は広い意味で、学会員間の情報交換の役割を担う媒体といえます。プラズマ・核融合学会誌は、PFR (Plasma and Fusion Research) が創刊されてからは以前にも増して情報共有の場としての役割が増したように思われます。現在、会員から

の投稿記事以外に編集委員の企画した記事が大きな部分を占めるようになってきました。この企画記事は、スケジュールに沿って編集委員が提案し、編集委員会での何度かの議論を経た後に執筆者に依頼されます。ちょうど1年前にこの編集委員会のメンバーとなり、この議論に何度か参加して、以前よりさらに企画記事の充実度を感じるようになりました。しかしながら、学会員の反応を知る機会は十分ではないように思います。会員の皆様には、是非、記事に対する意見、感想を、お近くの編集委員や、編集部にどしどし寄せていただけたら幸いです。また、こんな企画を載せてほしいといったご意見も歓迎です。可能であれば、商業誌のように「読者の声」みたいな欄をもうけるのも一案と思います。読者の意見がこれまで以上に寄せられることによって、学会誌がプラズマ・核融合コミュニティのメンバーにとってより身近な存在になることを期待します。

(石黒静児)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	松田慎三郎	副 会 長	佐藤浩之助	三間 園興	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 (企画委員長)		板垣 正文		今井 剛 (広告委員長)	
	奥野 健二 (プログラム委員長)		尾崎 章		加藤 敬 (財務委員長)	
	佐野 史道		田中 和夫 (編集委員長)		寺井 隆幸	
	畠山 力三		畑山 明聖		浜口 智志 (出版委員長)	
	本島 修		森 雅博 (広報委員長)			
監 事	藤山 寛		松尾 慶一			

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田中和夫 (阪大)

エディター 関子秀樹 (九大), 関 昌弘 (RIST), 田中雅慶 (九大), 福山 淳 (京大), 村上匡且 (阪大), 行村 建 (同志社大)

編集委員 石黒静児 (核融合研), 大矢恭久 (静大理), 越智義浩 (原子力機構), 加藤太治 (核融合研), 北島純男 (東北大院工), 北野勝久 (阪大院工), 小口治久 (産総研), 後藤基志 (核融合研), 佐伯紘一 (静大理), 酒井 道 (京大院工), 榊原 悟 (核融合研), 佐藤紘一 (京大原子研), 佐藤 聡 (原子力機構), 佐藤杉弥 (日本工業大工), 高山有道 (核融合研), 田中照也 (核融合研), 谷口和成 (京都教育大教育), 長崎百伸 (京大エネ研), 長友英夫 (阪大レーザー研), 浪平隆男 (熊大院自然), 野崎智洋 (東工大院理工), 畠山賢彦 (東北大金研), 花田和明 (九大応力研), 林 伸彦 (原子力機構), 平田孝道 (武蔵工大工), 平松美根男 (名城大理工), 吉川正志 (筑波大院数理), 吉田弘樹 (岐阜大工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第83巻第7号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円 (本体1,300円)

印 刷 株式会社荒川印刷

2007年 (平成19年) 7月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は (社) プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。